

ファシリテーション能力向上セミナー

「上手に聴いて上手にまとめる」合意形成技術能力養成講座

参加案内

1 ファシリテーション能力とは、

県民に分かりやすく開かれた県政を推進していくためには、多様な県民ニーズを的確に把握しながら県民への説明責任を適切に果たしていく必要があります。

そのため各種審議会や懇談会又各種事業の話し合いなど様々な機会に県民との間で双方向の質の高いコミュニケーションを図ることができる資質が求められています。

ファシリテーション能力とは、人と人をつなぎ県民の建設的な意見を引き出し合意形成や突り多い参画の場とすることができる能力です。

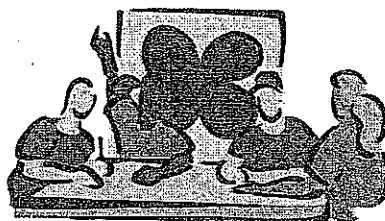
多様な能力と個性を持った人々が協働しあい、相手の目線に立ち、意見の違いを乗り越えて、持てる能力の相乗効果を生み出し導き出すことがファシリテーターの役目です。

まさに、自治体職員にとって、ファシリテーターとしての能力を身に付けることは、重要な課題といっても過言ではないでしょう。

※ ファシル：フランス語でe a s yの意味（促進する、支援する、円滑にする、容易にする）

※ ファシリテーター：話し合いを調整し促進する役、単なる進行役ではなく、コミュニケーションを容易にし、促進する役割を担う人

※ ファシリテーション：容易にすること 促進すること



2 研修内容

組織の活性化と合意形成を図るためのファシリテーションの考え方の講義、各講師の専門領域を活かした演習とワークショップによるファシリテーションスキルの習得、ファシリテーション実践ハンドブックの作成

3 受講対象者

係長級在職3～6年目程度の職員で部局長が推薦する者 12名程度

4 講師

宇都宮大学 廣瀬隆人教授 外4名

5 研修日程

別紙2のとおり

平成18年度 ファシリテーション能力向上セミナーについて

1 目的

県では様々な部局で、県民参画型の事業や普及啓発に関する事業を行っており、県民参加と合意形成をより促進するために職員のファシリテーション能力を引き出していくことによって、形骸化しない県民参画を進め、広く県民の期待に応える県政の推進に努めるものである。

特に、職場内の会議、県民に委嘱する審議会、委員会、シンポジウムや研修会、出前講座・ワークショップなどでの実際に活用し得る知識、技術、能力の育成を図る。

(H16 開始)

2 対象 県職員 (13名)

3 研修の基本的な考え方と方法

会議・委員会での県民の建設的な意見を引き出し、合意形成を図ることによって実り多い参画の場とするための力量を形成する。

4名のファシリテーターが行うワークショップ・会議・討議を体験し、その中から県庁職員に必要なファシリテーションの心と考え方、知識・技術・能力、言葉、間合い、振る舞い、対応策などについて最終日までに県庁の各職場でも即活用できるような「ファシリテーションテクノロジー・ハンドブック」という 20～30 ページ程度のレポートを全員で分担して作成することによってまとめとする。

そのため、一方的に講義・演習に参加するという手法ではなく、講義・演習のあとに十分な時間をかけて自分の学んだこと、ポイントなどについて、参加者同士で討論し、合意を形成しつつふりかえることによって、実際の活動に生きる能力とし、まとめのレポートづくりに生かしていく。最後に作成したレポートを利用して実際にファシリテーションを体験し、相互批評を行い、実際の職場で生かしていく橋渡しとする。

4 各アクティビティのコンセプト

(1) 講義・演習(7時間・含休憩) 6月13日(火) 9:15～17:00【廣瀬講師】

ファシリテーションとは何か、どのような行為なのか、ファシリテーションのスキルとは何か、会議、審議会、委員会、組織の活性化と合意形成するためのファシリテーションの考え方についての講義

成人教育の視点から見たファシリテーションについての講義・演習

(2) 演習・ワークショップ(6時間・含休憩、多少延長可)

6月14日(水)	9:00～16:00	【講師A】	} 16:00～17:00 リフレクションアワー【廣瀬講師】
6月15日(木)	9:00～16:00	【講師B】	
6月20日(火)	9:00～16:00	【講師C】	
6月21日(水)	9:00～16:00	【講師D】	

〈依頼内容〉

ファシリテーションスキルを身に付けるために、各講師の専門領域を生かして、次のような内容を含める。

①ファシリテーションとは何か ②ファシリテーションのマインド

- ③ファシリテーションの技術 ④意見を引き出しやすい会場設営の方法
- ⑤ファシリテーターとの資質と能力 ⑥ファシリテーションのツール
- ⑦効果的に意見をまとめる方法 ⑧形骸化しない住民参加型合意形成の手法
- ⑨市民と行政との協働を進めるための方法

(3) 演習(7時間・含休憩) 6月27日(火)～28日(水) 9:00～17:00【廣瀬講師】
「ファシリテーションテクノロジー・ハンドブック」の作成

5 総合プロデュース・企画アドバイス・講師

宇都宮大学生涯学習教育研究センター 教授 廣瀬隆人
〒321-8505 宇都宮市峰町 350 TEL/FAX 028-649-5141

6 担当

栃木県総務部人事課職員研修担当 主任 戸田陽子
〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20
TEL028-623-3868 FAX028-623-3870

7 スケジュール

	9:00	12:00	16:00	17:00
6/13 (火)	朝エ ンテ ション	講義・演習 協働を支えるファシリテーションの理念と方法 (研修全体のコンセプト・研修の方法と到達点の整理) 宇都宮大学教授 廣瀬隆人		
6/14 (水)	演習	つながりを広げるファシリテーション		リフレクションアワー 廣瀬教授
6/15 (木)	演習	住民参加型合意形成の手法とファシリテーター		リフレクションアワー 廣瀬教授
6/20 (火)	演習	参画のしくみづくりとファシリテーター		リフレクションアワー 廣瀬教授
6/21 (水)	演習	ファシリテーターのスキルとマインド		リフレクションアワー 廣瀬教授
6/27 (火)	演習	「ファシリテーションテクノロジー・ハンドブック」の作成 宇都宮大学教授 廣瀬隆人		
6/28 (水)	演習	「ファシリテーションテクノロジー・ハンドブック」の作成と実地研修 宇都宮大学教授 廣瀬隆人		